

社会資本整備審議会 道路分科会

第1回中部・近畿地方合同小委員会

議事概要

1. 日 時 平成 24 年 6 月 11 日（月）10:00～11:45
2. 場 所 近畿地方整備局 京都国道事務所 5階 会議室
3. 出席者

[委員]

おおくぼ	あかね	富士常葉大学・大学院総合経営学部 教授
すがわら	あきふみ	(社)中部経済連合会 常務理事
なかむら	ひでき	名古屋大学大学院工学研究科 教授
ひでしま	えいぞう	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
うらお	こ	京南倉庫株式会社 常務取締役
かわもと	よしみ	福井大学大学院工学研究科 准教授
たまおか	かおる	作家
むねた	よしふみ	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
やました	あつし	関西学院大学法学部 教授
○ 山下	淳	

※敬省略 ○は副委員長

4. 議 事

- (1) 中部・近畿地方小委員会の運営規則の改正について
- (2) 道路事業に関わる取り組みについて
- (3) 計画段階評価（試行）について

・近畿自動車道紀勢線 新宮～大泊 [三重県・和歌山県]

(4) 議事概要

<委員からの主な意見>

- ・伊勢、熊野、奈良地域は、日本人の精神的、文化的に特別な地域であることから、その地域特性を、資料、アンケート等に反映すること。
- ・日常の生活道路としての機能を担う事も示すこと。
- ・自治体ヒアリングでは道路のみではなく、高速道路ができるとどうなるか、どうしたいのか等、地域における意義や重要性を聞くこと。
- ・津波によらず、大雨等のリダンダンシー機能の確保の面からも、現道活用はない。
- ・大阪や名古屋からのみでなく、圏域（紀伊半島ブロック）内での医療も含めたアクセス時間を整理すること。
- ・アンケートにおいて景観面等への配慮について確認すること。
- ・住民アンケートについては、事業者や道路利用者へのアンケートに比べ回収率が低くなる可能性があるため、回収率向上の工夫を図ること。
- ・ヒアリングについては地域の意見の他に、事業者団体等であれば大阪・名古屋などからの広域的な観点の意見も聞く必要がある。
- ・課題、アンケート内容等、微修正はあるが概ね妥当。